



特集

# グラフィかごしま

おかげさまで通巻500号を迎えました。

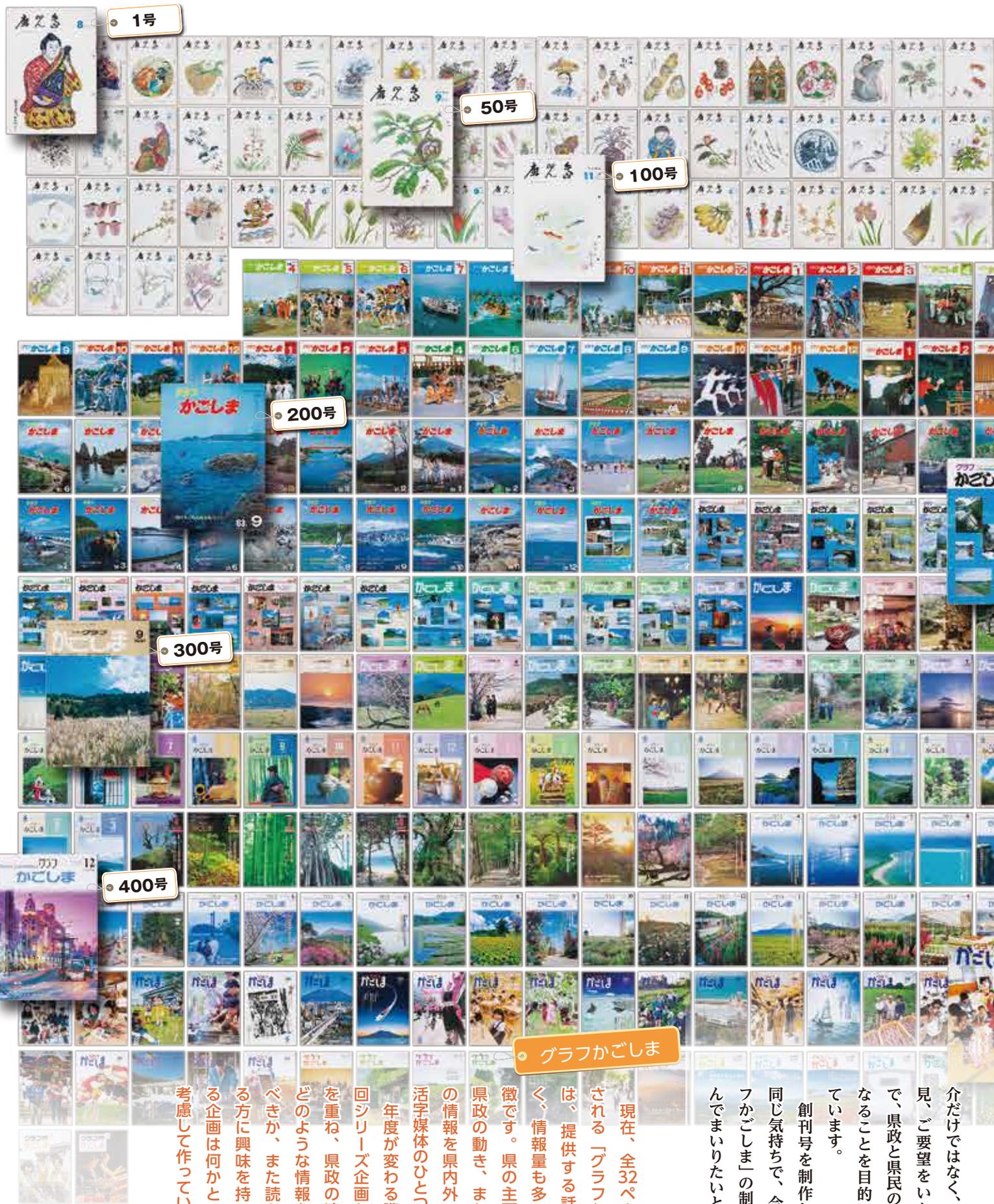


Thank you!

ありがとうございます。

おかげさまで鹿児島県広報誌「グラフィかごしま」は誌名や内容を時代とともに変えながら、今号で通巻500号を迎えました。これは、ひとえに読者の皆さまや、取材や写真の提供などに快く応じてくださる皆さま、そして制作に関わる関係者の皆さまのご協力のおかげです。心から感謝いたします。

グラフィかごしまの前身である「鹿児島」の創刊号の編集後記には、「県政は、行政にたずさわる一部特定の人のためのものでなく、県民すべてのもの。この広報誌では県政の動きを逐一お知らせし、鹿児島県をよくするためにみなさまのご協力をねがうことにした」とあります。「グラフィかごしま」は、県政の紹



介だけではなく、読者のご意見、ご要望をいただくことで、県政と県民の橋渡し役となることを目的に制作されています。

創刊号を制作した職員と同じ気持ちで、今後も「グラフかごしま」の制作に取り組んでまいりたいと思います。

グラフかごしま

現在、全32ページで構成される「グラフかごしま」は、提供する話題も幅広く、情報量も多いことが特徴です。県の主要な施策や県政の動き、また県内各地の情報を県内外へ発信する活字媒体のひとつです。

年度が変わる際には、毎回シリーズ企画などの検討を重ね、県政の流れの中でどのような情報を発信するべきか、また読んでくださる方に興味を持ってもらえる企画は何かということを考慮して作っています。



グラフかごしまを含む

# 鹿児島県の広報誌の歴史

1953



「広報かごしま」

「広報車ひばり号」

鹿児島県広報課に  
保管されている広報  
誌で最も古い広報誌  
は、「広報かごしま」



です。昭和28年10月1日に発行さ  
れていて、当時の県経済部長が「経済  
振興策の焦点」について説明していま  
す。

また、巻末では、県庁を訪れた方が  
お茶のサービスや各種新聞などを楽し  
むことができる「県民の室」を紹介し  
ており、広報広聴の最前線の場として  
設けられたことがわかります。

昭和30年8月号では広報車ひばり号  
も紹介されています。県内各地を訪  
ね、県政について広くお知らせして  
回っていたことがわかります。

1962



「かごしま」

昭和37年には一般県民向けではな  
く、地域の相談相手としての役割を持  
つなどの指導的立場にいる方へ向けて  
郷土づくりが円滑に進められることを  
願い、タイトルを「かごしま」に改め  
て創刊されました。

創刊号では、県の予算を説明し、ま  
た写真で「姿を変える鹿児島南港」を  
紹介しています。この「かごしま」  
は、1年間隔月で発行されました。

1963



「グラフかごしま」

昭和38年4月に発行された初代「グ  
ラフかごしま」。

広報誌「かごしま」と「県政写真グ  
ラフかごしま」。

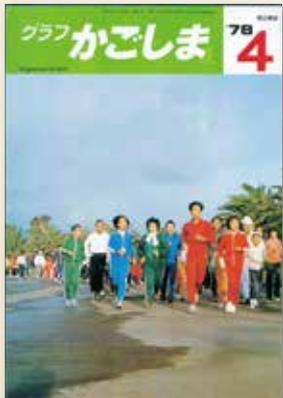
1967



「鹿児島」

「ラフ」を統合し、創刊されました。  
写真を主とした視覚的な広報誌で  
す。創刊号の表紙では、嘉永4  
(1851)年に造られた薩摩切子を  
表紙写真に据えています。また建設途  
中の鶴田ダムが年度中に完成すると紹  
介しています。

1978



「グラフかごしま」

「鹿児島」を衣替えし、大きさや表

現在の「グラフかごしま」の前身  
「鹿児島」。昭和42年8月15日に生ま  
れました。それまで発行されていた  
「県政だより」と「グラフかごしま」  
を統合した広報誌で、表紙は帖佐人形  
「琵琶と人形」です。  
また題字は、西郷南洲（西郷隆盛）  
の書で、「南洲先生遺墨集」から集字  
されたものです。

2014



「グラフかごしま」

「県政かわら版」

現在、県の活字媒体は、「グラフ  
かごしま」と「県政かわら版」があ  
ります。

県政かわら版は、県内全戸配布の  
広報紙で県の施策などを県民の皆さ  
まにお知らせするものです。どちら  
も写真やイラストを多く利用し、わ  
かりやすくお伝えできるように制作  
しています。

紙などをリニューアルして昭和53年に  
誕生した「グラフかごしま」は、現在  
のグラフかごしまとは少し異なり、  
ページ数は半分の26ページで構成、ま  
た毎月発行されていました。  
初号では、53年度の予算について説  
明し、表紙には予算の目玉で同年に始  
まった「サンライフ運動」を取り上  
げ、鹿児島市内の鴨池運動公園ランニ  
ングコースでの「早朝走ろう会」の様  
子を紹介しています。

[昭和42年8月号] 一知事と語るー 金丸新知事のインタビュー



# 60年代

[西暦1967年~]

通巻第1号の巻頭ページでは、昭和42年に就任した金丸知事が新県政に対する抱負を南日本新聞社の論説委員長との対談で語るページが組まれています。農業、教育の振興に加え、交通網の整備も含めた都市計画などを詳細に語っています。

グラフかごしまの歴史を辿ると鹿児島島の歴史がのぞけます。



[昭和43年11月号] くらしのちえ 結婚式のマナーなど



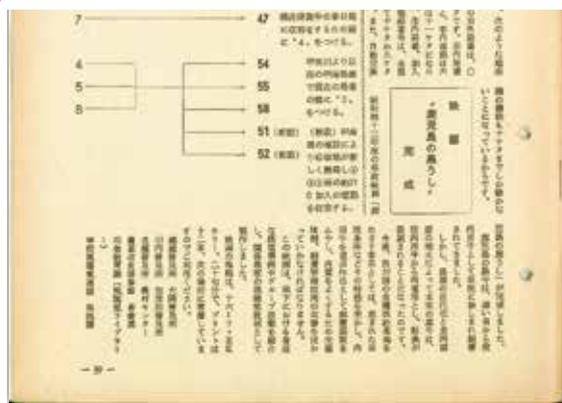
[昭和43年10月号] 市町村だより 左下に南種子町の第一号ロケットの発射成功の記事



[昭和43年7月号] 表紙裏 新しく決まった観光ポスター



[昭和44年10月号] 新しいいぶき 桜島とジェット機「B737」就航の記事



[昭和44年5月号] 告知板 県民のくらしに必要なお知らせなど 左下に県政映画「鹿児島島の黒うし」の記事



[昭和44年4月号] 21世紀の人づくりへ 太陽の子運動を推進